

かのうへと到着し取扱り後半天がわづつだ」と、一先づ自ら全款支給してハネカヒテ
それへと生ずる税金の回入を戦力とする事態をみう切ることになつた。それで科長
がこれに毛躁軽率体下の空氣を是頃にきては極めて不適な空氣をやつづけることだ。
そこで苦しく人を立たるからこゝ空氣は底く一派市民もうちある。之が事実丈へ立る事
要つてはえなんであつて、第一科長が馬鹿に居て、一時は京僕が一派を空三支と云ふ事、僕は
十分説にもなつてゐる。無事者ら一派オフテ居る。そこで根元よりの事も厭を送らる。机上
はエホルトにさすえぬうちに、或院はもつと「底なしの事」しかカラヤも能が勝つんだ。
を派なサギレムハシカ、それとたなへあひて一派も統一かへないで、證書など又りして
前毛の成立休カリは嚴重だ。料金がナシ滞れをすぐ割然縮を計つ。中にはアガナク
仕方がない。不完全手作業を本宣仰をホツトホツとして、併し事端を起し大アラ高因
ちう時には放棄して此のことをあつては理に外れなことがあつた。想當然の事で
在てた事が僅一過波の在原（ハシカリオウ）とすれども、ちよび延べやモ並し死傷者キテ
おした。又毛の箇所中にも校かつたて、アリテ日障りはうでもなく立直りヤマニ上む
不吉を教へ上个水はキリかない。すぐアラ京民は「科金を立刻下さる」一派主の毛压を
送れ。〔次第で意味どうか、引込キ、アリテシテ〕「強制剥削をやり、」前半路をや
めで地下鉄はしろ」と云ひ歩兵を胸にもぐらる。ながら方隊会は我ミハ布民モ先頭に立
令水を戦ひ、こう要求を直ちに叶はなくなつた。我ミハ筋筋によそ正民大アラ、布民太
公会、かアリテアラたら。山山では致死が経來して戦つてゐる。しうし我ミハ伍下川但ヒ
猿橋的によろし。令水アラバシヒ二ア先頭を立テ仰う所もではなうない。二水アラヒア
名はモテ毛の立原に力絶て反復を立てるに立つた。

〔芝浦、六名は辛酉組の者で會社と關係がない二名も社則違反で大量賊首と關係
がない、後業員組合と関電とは指道精神と戰術を異にし常に我が組合を譲謙中傷に
没頭せるが故に共同闘争は出来ない」と言ひてある。我が関電は何回となく事件の眞
相を發表し既に諸君がよく知るから、か如く芝浦、六名も我々と全様に東電の一備員と
大切つた。此の六名の復職の爲伊藤君と仲君とが後業員代表となぞ先頭に立つて会
社と交渉し其の報告と午後二時半、休時間を利用し報告申合社は十数名のボリをつれて、
工職場から検束させ十五日の拘置にして文、手當も支給せた。賊首したつだ。

諸君よー、これが不當賊首でなくてはならぬ。どこで社則違反があつただ。然も社長室
には三重の扉を半はし中には三尺の辟令、山が二もあるではないか。社長副社長外數名の社

別記 勉首及對の共同闘争を拒絶する者は 階級的裏切者だ

④

東電從業員組合員諸君！

八月二十三日大量賊首の前小川として芝浦六名。賊首に續いて伊藤君と仲君の不當賊
首に依る會社の吾々後業員へ挑戦に對し我が関東電氣勞働組合は道に共同闘争と
從業員組合に申し込んだ。然るに後業員組合幹部は意外にも拒絶。ビラを撒布したりだ。
之の内容は大体次の通りだ。